



中部電力

熱可塑性CFRP急速加熱機

省エネ大賞 経済産業大臣賞を 受賞



表彰

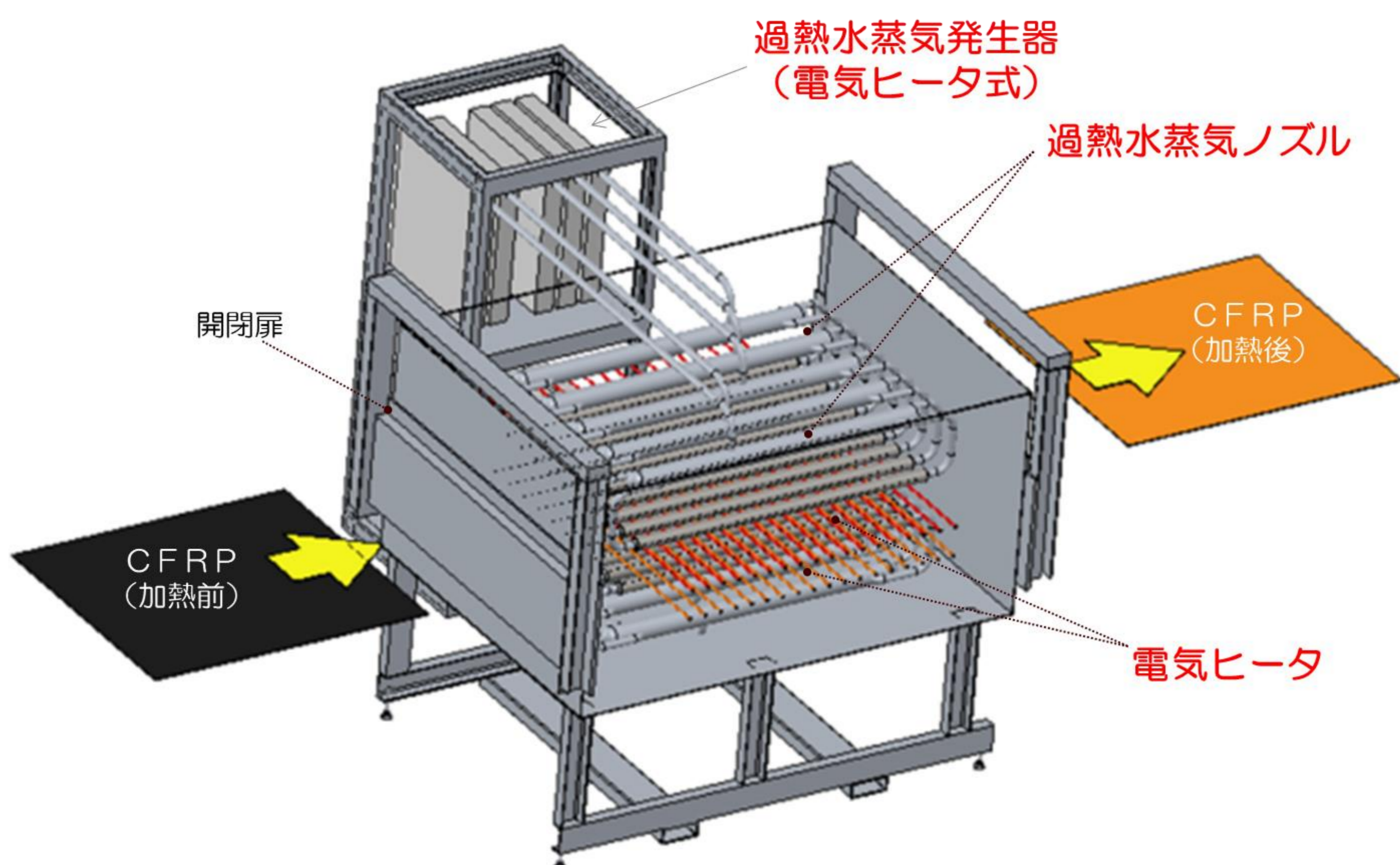
- 2015年にエネルギー応用研究所が開発した「超高速昇温コンパクト炉」を改良した装置が、その優れた省エネ性と生産性が高く評価され、トヨタ自動車と豊電子工業と共同で、「省エネ大賞経済産業大臣賞」を受賞しました。
- 同賞は、優れた省エネ活動事例や技術開発による先進型の省エネ製品等を表彰するものです。
- 当社が「経済産業大臣賞」を受賞するのは初めてです。

開発

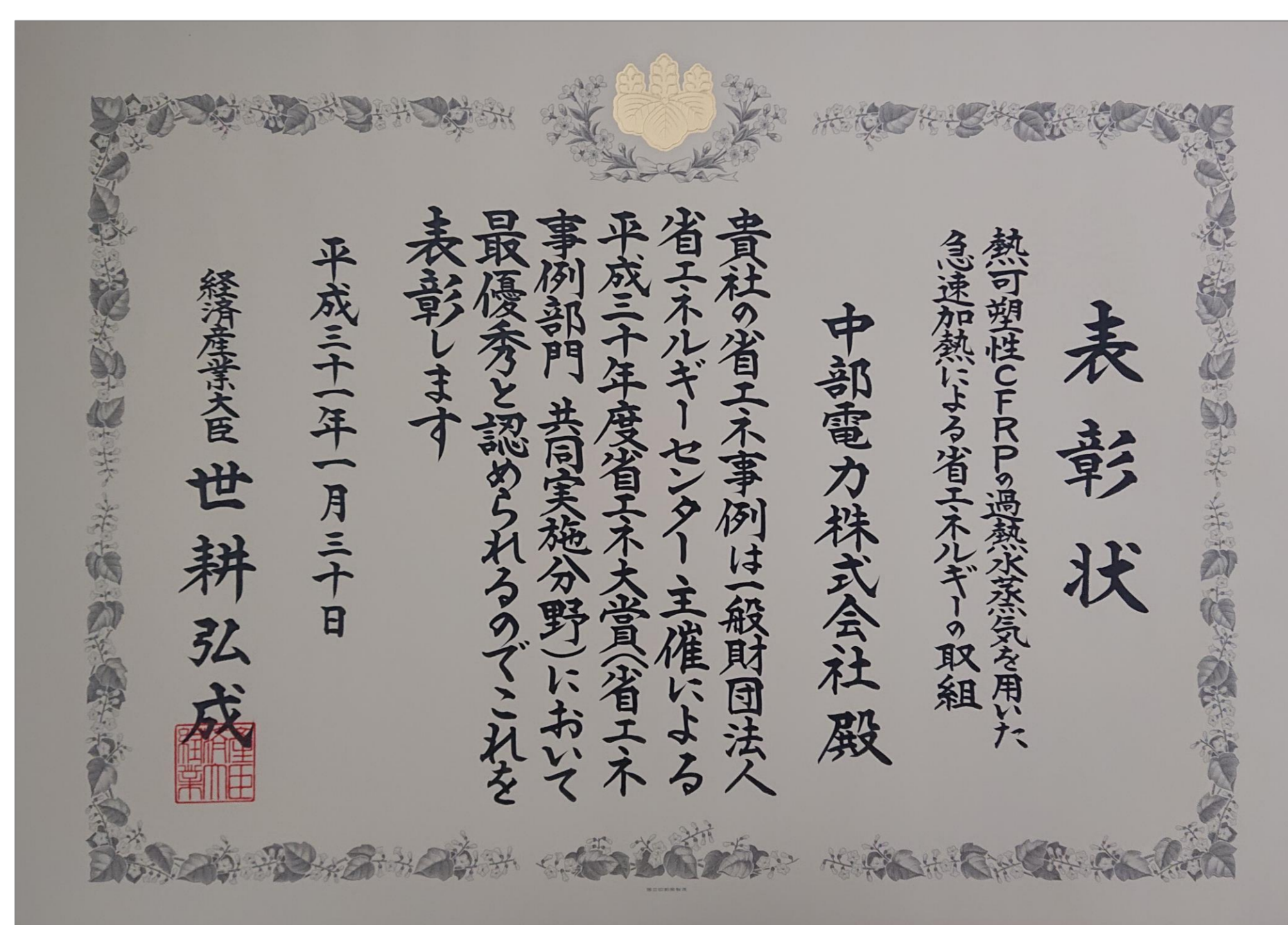
- 今回は、エネルギー応用研究所と販売カンパニーが協力して、開発一体型ソリューションに取り組みました。
- 開発一体型ソリューションとは、省エネや省コストといったお客さまのニーズに対し、お客さまと当社が一体となって、試験を繰り返すなどして、課題解決していく営業手法のことです。

効果

- 開発一体型ソリューションの知見を基に、エネルギー応用研究所が基本設計を行った「熱可塑性CFRP急速加熱機」が、2017年にトヨタ元町工場のCFRP(炭素繊維強化樹脂)の加熱工程に導入されました。
- 従来と比較して、エネルギー使用量を約80%削減、加熱時間を約70%短縮するなど、省エネルギー性と生産性の大幅な向上を実現しました。



熱可塑性CFRP急速加熱機



贈られた表彰状とトロフィー

開発者の
ひとこと



おさ 伸朗

トヨタ自動車様のご要望にお応えするために、販売カンパニーと協力して、トヨタ自動車様の技術者と一緒になって開発一体型ソリューションに取り組みました。今回の受賞は、その優れた省エネルギー性と生産性が高く評価されたものです。技術者として研究者として最高の栄誉であると思っています。